

# 若林・三軒茶屋地区住民の 防災に関するアンケートの調査結果

平成26年9月  
若林まちづくりセンター



## 1 調査の目的

平成 25 年の災害対策基本法において、共助＝地域の絆や助けあいの精神による防災活動の推進を図るため、地区居住者等が自発的に防災活動に関する計画を作成できるようになった。

当まちづくりセンターでは、これを受け、支援策のひとつとして、地域住民の防災意識について「防災アンケート」を実施した。

## 2 対象者

若林・三軒茶屋地区に在住の方で、町会やPTA会議等の出席者及び、いきいき講座やラジオ体操等、地区内行事参加者。若林まちづくりセンター窓口来庁者等を対象として行った。

## 3 実施時期

平成26年8月～9月

## 4 アンケート回収数

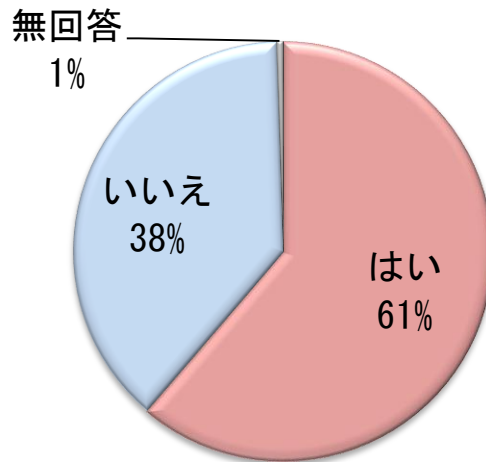
計209名

## 5 防災に関するアンケート集計用紙

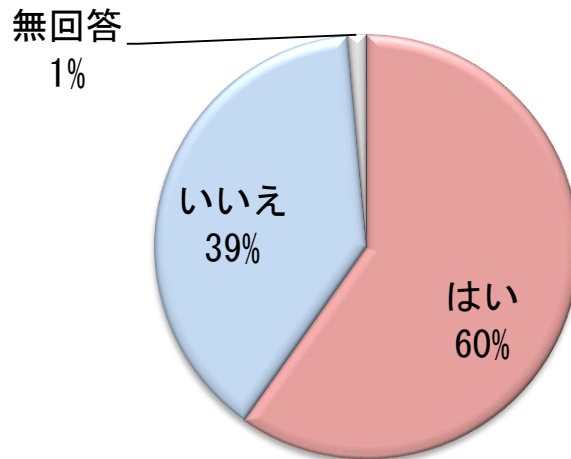
末尾に添付

日頃からの防災に対する取り組みについてお尋ねします。

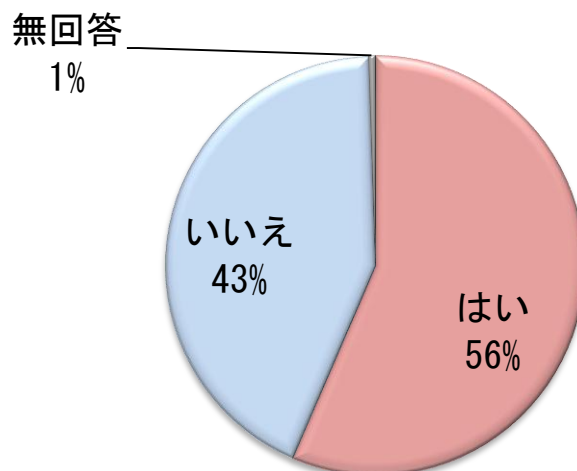
1 平常時から家族全員の3日以上の食料や水の確保をしていますか？



2 発災時の家族と連絡方法や参集場所などを取り決めてありますか？



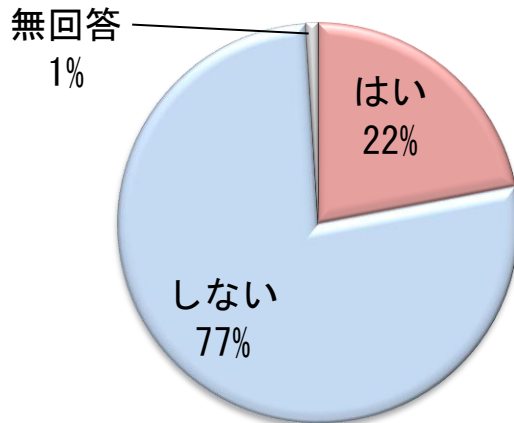
3 若林・三軒茶屋地区では、毎年、町会が中心となる避難運営訓練や防災訓練、防災セミナーなどを実施しています。あなたはいずれかに参加したことがありますか？



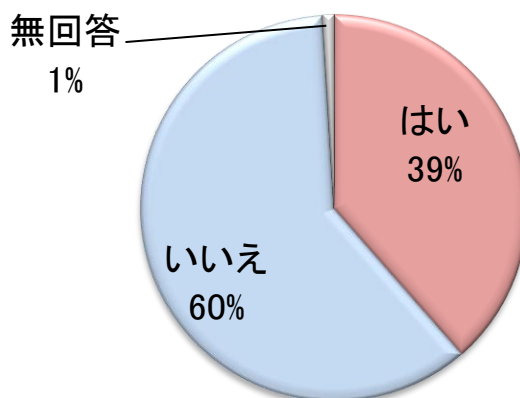
想定質問です。

自宅にいるとき、震度6弱の地震が発生しました。これから3日間、あなた  
が取る行動について予測し、次の質問にご回答下さい。ただし、あなたは3日  
分の食料や飲料水、防災物品を備蓄しています。

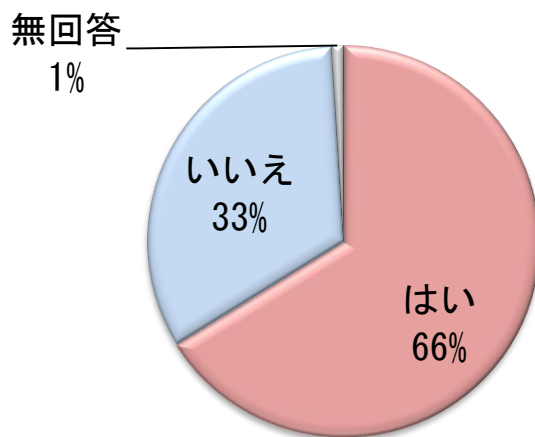
4 自宅の建物に被害はありません。避難所に避難しますか？



5 自宅の建物に被害はありませんが、家財などが散乱しています。  
避難所に避難しますか？

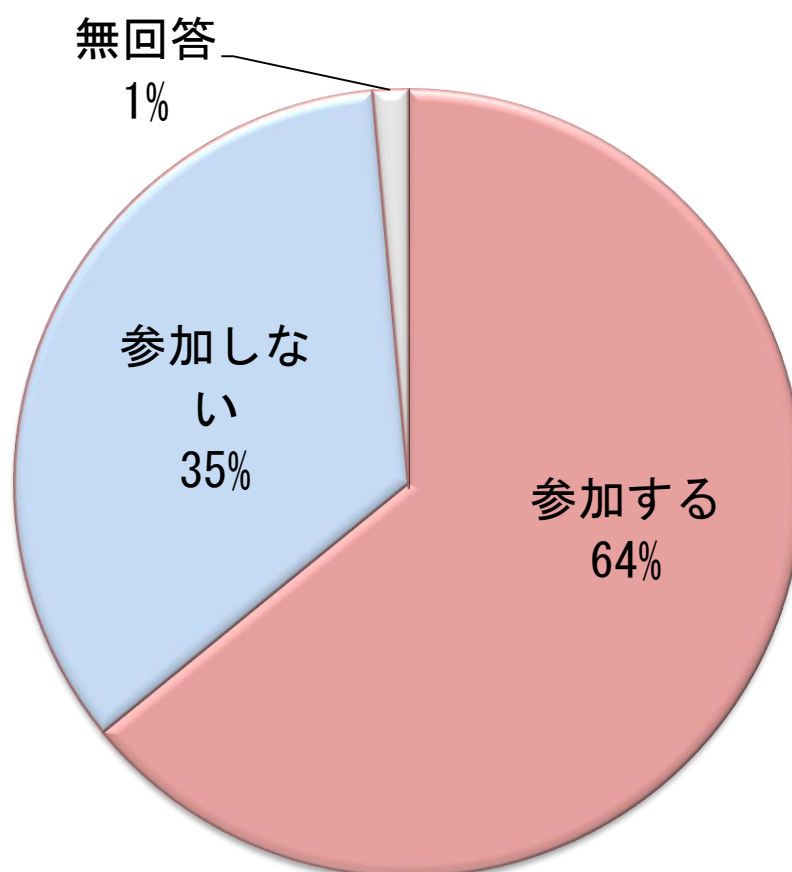


6 ライフラインの一部（上下水道・ガス・電気・情報ツールなど）  
が停止しました。避難所に避難しますか？



はい

- 7 どの避難所でも開設する際は、町会の方を中心とした運営本部ができます。しかし、避難所では、グループ作りや飲料水・衛生物品の配布、災害弱者への介護ボランティアなどたくさんの助け合いを必要とします。あなたは、参加できますか？

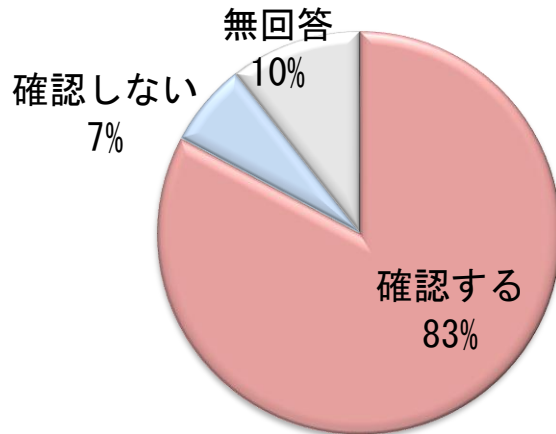


想定質問の続きです。

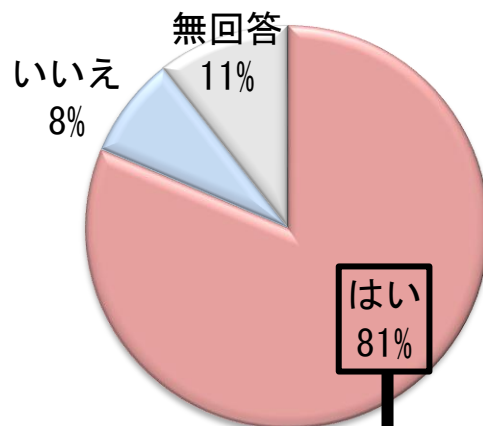
あなたは、自分自身や家族、家屋の安全が確認できましたので、避難所には行かず、自宅で避難生活を選択しました。

これからは、近隣の方、周りの方への配慮、地域での役割などについて、お尋ねします。

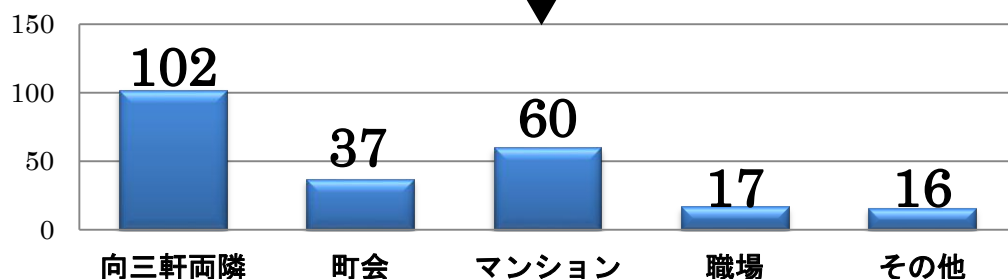
8 発災直後、自宅だけでなく隣近所の様子を確認しますか？



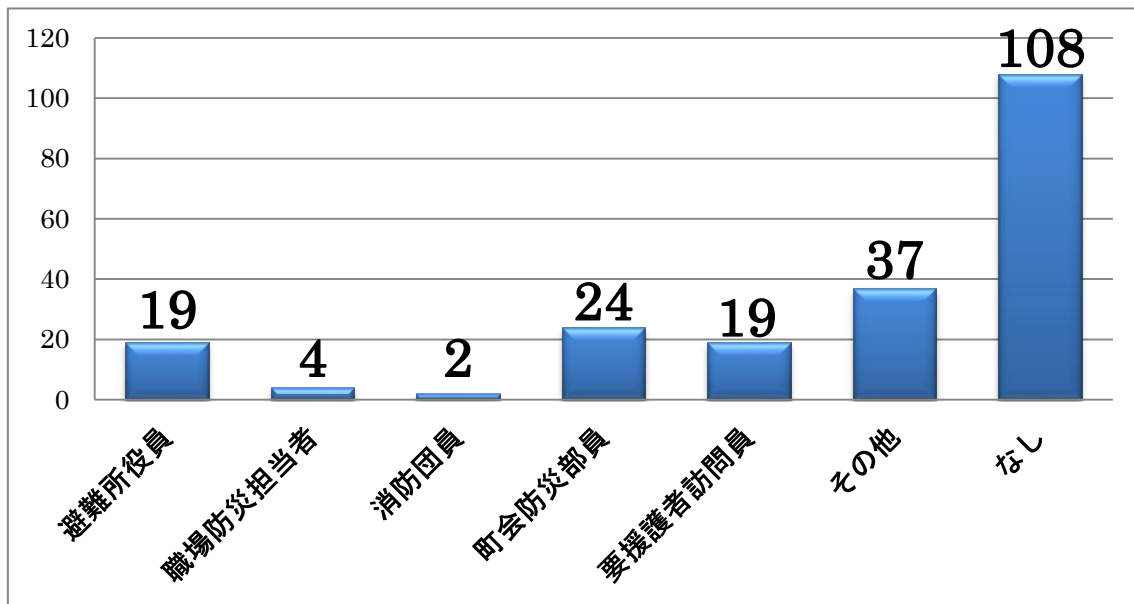
9 周りに助けを求めると人がいた場合、お手伝いできますか？



10 助け合う仲間の単位は何ですか？



1 1 現在あなたは、発災直後の助け合いのために、何か役割をお持ちですか



## 1 2 ご意見や考えなどご自由にお応えください。

### あなたは身の安全を確保するため、どのような準備をしていますか？

1. 水などの確保・マンションの消防訓練に参加（昨年は出られたが今年は出られなかった。）・会社での訓練でも勉強する等。
2. 1～3日分の食糧確保、水など保存している。
3. 6人家族で家屋も狭いため、1日分の備蓄しかありませんが、避難所へ行かなくてすむようにしたいと思っています。
4. 安全場所を確認する。
5. 家の中で安全な場所を見つけておく。
6. 家を重量鉄骨で新築しました。
7. いつもいる部屋にはなるべく高さのある家具を置かない。寝室にスニーカーヘルメット他持ち出せるものを用意している。
8. 今まで防災物品の備蓄をしておこうと思いつつ、いまだにしていなかったので、いざという時のために、必要だと思いますので、家族と考えていこうと思います。
9. 色々考えていますが、具体例はないです。
10. 大きな家具を置かないようにする。防災用品のチェック。
11. 懐中電灯、運動靴、衣服を身近に就寝。
12. 懐中電灯、食料の確保、近隣兄弟への連絡。
13. 家具が倒れないようにしている。
14. 家具が倒れないようにする。
15. 確実な準備はしていません。家族単位で避難する場所を決めています。
16. 家具転倒防止、簡単な防災用品をまとめている。
17. 家具の安全。防災用品の用意。家族内の話し合い。
18. 家具の固定、飲料水、食料の確保。非常用水の確保トイレの準備。
19. 家具の固定、登山靴の用意（ヘルメットも）、普段防災グッズを持ち歩いている（水、携帯食料も）。
20. 家具の固定、避難グッズの定期的なチェックなど。子ども達に日々災害についての意識を高めること。
21. 家具の倒壊防止。
22. 家具の転倒防止。
23. 家具の転倒防止。
24. 家具の転倒防止。火の始末を確実に。リュックは手の届くところにおく。
25. 家具の配置、転倒防止、水等の準備、笛やLEDライトを持ち歩く等。



26. 家具を固定、滑り止め等。不便なこともありますが、安全のためやっています。
27. 家財を減らす。
28. 家族3日分の食料と必要と思えるものを用意しています。
29. 家族と災害時に待ち合わせ等を含め、防災について話し合っている。地域の訓練等に積極的に参加するようにしている。
30. 家族との連絡を密にする。予定を確認しておく
31. 簡単な避難用リュック、トイレ用の水がある。
32. 救命技能認定証を持っています。
33. 近所の方々と交流。
34. 靴を寝ている二階に確保している。
35. 玄関に防災グッズをリュックにいれ、持ち出せるようにしている。情報に敏感になる…TVは常につけている。
36. 子どもがまだ小さいので、簡易トイレなど子ども用の防災用品は多少準備をしている。
37. 子どもの教育。
38. 災害時用持ち出し袋。
39. 最低3日分の水、食料、トイレの用意。
40. しなければ・・・と思いながら、なかなかできていないのが現状です。ヘルメット、靴などこれから切実に考え準備していきたいです。
41. 自分の身だけは準備してあります。
42. 消火器の点検、飲み水の確保。
43. 正直あまり準備をしておりません。
44. 情報の確認。
45. 食品備蓄・テントの保有・カセットコンロの準備。
46. 食料、水等の一定日数分の準備。懐中電灯、携帯ラジオ等の管理。
47. 食料の確保他。
48. 寝室に倒壊するようなものを置かない。厚底靴を用意する。
49. 寝室には物を置かない。かべなどにもほとんど物をかけない。
50. 寝室の頭周りに物を置かない。
51. 水分の確保、他には特にしていません。
52. 少なくとも自宅とその周辺で危険な箇所は適宜チェックする。
53. すぐに持ち出せる生活用品をセットしてある。家具が倒れないように固定してある。
54. それなりにしています。
55. 耐震建物に、タンス等が倒れないようストッパーをつけている。

56. 助け合い。
57. 常に食料や水の確保。
58. 手荷物・水の準備。
59. 手回しラジオ、懐中電灯を寝室においておく。
60. 特にしていません。
61. 特にしていませんが、いつも思っています。
62. 特に何もしていない。
63. 何もしていない。
64. 備蓄、身支度（防災用として、ラジオ、懐中電灯等）
65. 避難グッズをそろえている。
66. 避難所の確認。非常持ち出し。
67. 避難場所までの道路の安全確認。避難用具類の確認（定期的・電池消耗品などの点検）
68. 避難用持ち出しの物品などの準備
69. ベッドのそばに色々準備しています。
70. ヘルメット、水、食料。
71. ヘルメット、毛布、飲料水の確保。
72. ヘルメット・防災頭巾等を用意しています。
73. ヘルメットと靴を枕元に。家具転倒防止、耐震補強。
74. ヘルメット防災用靴等を枕元においている。
75. ヘルメット用意、食料、水の確保
76. 防災グッズの準備をしていますが三日分には足りないと思います。
77. 防災頭巾。防災用リュックを準備してはいます。
78. 防災バック。
79. 防災用リュック。
80. まだしていない。
81. まだ準備はしていない。
82. 水、食べ物（カンパン）。
83. 水、トイレトペーパー、カンパン。
84. 水などの確保。高いところに物を置かない。
85. 身の回りの大切なものは少々ですがまとめてあります。
86. 落下してきそうな物の近くに寝ない。戸棚に落下防止をしている。
87. リュックサック（防災用）につめている。水は2リットル×18本。
88. リュックサックに缶詰や日用品のものを入れている。
89. リュックサックに最小の必需品を用意しています。

## 災害を減らす助け合い活動をするとしたら、どのようなことができますか？

1. 高齢者のサポートなど自分自身での移動などが特に困難な人へのサポート（必要なものを聞いて届けるなど）。
2. 家周りの掃除。
3. 教えて欲しいです。
4. 会合等で常に災害の話をし、皆さんに日ごろからその対策を意識するように呼びかけています。
5. 火事にならないよう、水や消火器を用意しています。
6. 体をうごかしてどうにかなること。
7. 救助、避難所運営。
8. 協力していただければ初期消火や危険なものをどかす。
9. 近所の方と顔見知りになっておく。学校の授業で子どもの頃から知識を持つておくこと。
10. 近所の方とのあいさつ。
11. 近所の人に声かけをし、共助共援したいと思います。
12. 近所への声の掛け合い。
13. 近隣、周りの方へ声がけ。
14. 近隣との日ごろからの助け合い活動計画。
15. 近隣との連絡。情報交換。
16. 近隣と日ごろから仲良くする。
17. 近隣の方と常々コミュニケーションをとるようにしている。
18. 現在近隣は単身世帯が多く、情報が少なくいざというときの状況がわからなくどのような行動がとられるかわからない。
19. 声がけ、挨拶などでどこに誰が住んでいるか知ること。
20. 声かけ、見回り。
21. 声かけ。日ごろから防災について話をし、すぐ行動できることを考える。
22. ご近所への声かけを心がける。
23. 災害弱者への手助け。
24. 三軒茶屋は家が密集しているので、火事が怖いから、初期消火ができるようなシステムがあると良いと思う。
25. 地震後の火災が少なくすむように自宅周囲のごみを片付けたりすること。
26. 自分の家をまず安全に守るようにする。
27. 自分のこと、自助を専念することをかんがえています。
28. 商店街活動。

29. 食事。
30. 食料の確保。
31. 正しい情報の入手
32. 地域、近所で声を掛け合い、助けられることは協力していきたい。
33. 地域の人たちと話し合いをして、助け合いをしている。
34. 地域の人とコミュニケーションを深める。
35. 地域防災活動への参加
36. 地域防災力強化の活動をしています。
37. 通常時から防災に対する意識付け、実技を含めた訓練等に参加する。
38. 歳をとっているためできることを手伝います。
39. 隣の方に声かけ。移動の手助け。コミュニケーションを持つ。
40. 何もできないと思う。
41. 日ごろから近隣の方と親しくする。防災活動等に参加する。
42. 日ごろから近隣の交流を心がけておく
43. 日ごろのお付き合いを大切にしています！！
44. 日ごろの声かけ。
45. 日ごろの心構え。
46. 日ごろのコミュニケーション、近所づきあいを大切にする。
47. 一人で避難所へ行けない方を連れて行く。
48. 普段から隣近所と交流を持つこと。恥ずかしながらなかなか出来ませんが。。。
49. 減らすということは、前もってというのは難しいというか、何をして良いのか思いつきません。
50. 防火に努力。
51. まわりがお年寄りなので声を掛け合う。
52. マンション内の助け合いを必要とする方への援助。
53. 水食事などの配布係
54. 身の回りの整理整頓。普段の心がけ。
55. 民生委員協議会の方針にフォローして協力したい。
56. 目の前にあることを何ということではなくやる。
57. 目の前に困っている人がいれば助け合えることは協力する。
58. 要支援の方々が安全に避難所にいけるようにまた、いけないときは出来ることの支援をしていく。
59. 的確な情報のもと行動するように心がけている。